

市長訓示

- 本日、龍峯地区に行き、被害にあわれた方やボランティア活動をされている方々とお会いし、目下の課題が何なのかを確認してきました。
- その中で、災害ごみの分別や持ち込み場所が龍峯地区の方々にとって負担になっているとのことでした。
- 龍峯地区はほかの地域と災害の様相が違い、大量の土砂が家の中まで入り込んでいる状況で、復旧作業も非常に重労働となっています。
- また、分別をしているとボランティアの皆さんの作業がそれだけで1日が終わってしまう状況のため、他とは違う対応をとる必要があるのではないかということを示し上げたところです。
- 災害も一律のルールでやるのではなく、地域によって様相が違いますので、状況にあった柔軟な対応をお願いしたいと思います。
- 現場でも相当ご苦労されていることなので、早急に検討し、結論を出していただきたいと思います。
- さらに、自宅に土砂が入り込んだ方からは、ここに住み続けるのは無理なので解体をしたいが、今回は公費解体はないのか、とのお声もいただきました。
- 熊本地震や豪雨災害では公費解体はありましたが、今回の場合はどういった手立てがあるのか、その場所で再スタートを切るために、公費解体ができるのかどうか、検討をお願いしたいと思います。
- 同じ水害と言っても地域によって被害の状況は違うので、状況に応じた柔軟な対応がとれるよう工夫していただければと思います。引き続きご尽力のほどよろしくお願いします。